

3R

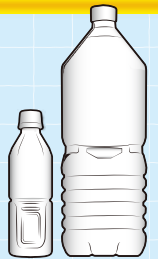
情報
発信

活動
支援

学習
体験

生ごみ堆肥で育った「東北八重ひまわり」

ペットボトルのリサイクル



軽くて衝撃に強く、開栓後の再栓（リキャップ）性に優れたペットボトルは、飲料や調味料など様々な種類の液体の容器として、いまや私たちの生活には欠かせないものです。

日本のペットボトルリサイクルは回収率、リサイクル率ともに国際的な見地からも最高水準だと評価されています。

中身が消費された使用済みのペットボトルは、私たちが分別して市町村が回収選別後、事業者によって再商品化される「市町村ルート」のほか、自動販売機やスーパー、コンビニ、交通機関、レジャー施設など事業者自らの手でリサイクルされる「事業系ルート」の二つに分けてリサイクルされます。

リサイクルの方法は2つ。ひとつは回収したペットボトルを粉砕、洗浄などの処理をして再生フレークにし、繊維製品（ユニフォーム、カーペット、自動車内装材など）、シート製品（卵パック、クリアファイルなど）、成型製品（洗剤ボトル、ボールペンなど）など様々な製品を作る「マテリアルリサイクル」という方法です。一定の基準を満たした製品には「PETボトルリサイクル推奨マーク」がついているので、ぜひ家庭でも探してみてください。

もうひとつは食品用として使用したペットボトルを回収後、PET原料に戻し、再びペットボトルを作る「ボトル to ボトル」という方法です。再使用するいわゆるリターナブルペットボトルとは違い、ケミカルリサイクル（化学的再生法）、またはメカニカルリサイクル（物理的再生法）によって異物の完全除去を行うため、石油から作られるPET樹脂と同レベルの高純度の原料が得られ、新品同様の安全できれいなペットボトルに再生することができます。



◀ PETボトル
リサイクル
推奨マーク

福岡市のペットボトルのごみ出しのマナー

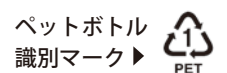
平成24年～26年度に市内10地区の家庭から出された黄色の「空きびん・ペットボトル用」ごみ袋の調査によると、正しいルールで出されたペットボトルは全体の約4割に止まっています。福岡市が収集するペットボトルにはキャップが付いたもの、中身が残ったままのもの、たばこの吸い殻などの異物が入ったものなど不適正に排出されたものが多く、ペットボトルを圧縮・梱包したバール品の検査では、近年、最低ランクのD判定（要改善）が続いています。また、収集袋のなかに「空きびん・ペットボトル」以外のプラスチックボトルや金属類などが混ざっていることも少なくありません。確実にリサイクルするためにモルルールを守って、正しい分別、排出を心がけましょう。

ペットボトルを出すときの手順

- 1 **キャップとラベルをはずす。**
（キャップとラベルは燃えるごみへ）
- 2 **中を軽くすすぐ。**
- 3 **横に平たくつぶす。**

ペットボトルとして出せないもの

- 工作等で利用したり、マジックで文字や絵を描いたもの。
 - ペットボトル識別マークが
ついてないプラスチック容器。
- （いずれも燃えるごみへ）



“もったいない精神”を 子どもたちに伝えつづけてたい

社会福祉法人恵和会 めぐみ保育園



緑のカーテンの葉陰でひと休み

“もったいない”という日本語は、ケニアの女性環境保護活動家ワ
ンガリ・マータイ氏が世界に広めたことで、いまや海外でも知られ
ています。環境問題を考え、環境活動の意義を伝えようとするとき、
「物を大切にしましょう」「残さず食べましょう」「できるものはリサ
イクルしましょう」などをひと口で言い表すのに、これ以上の言葉
はないような気がします。

そんな「もったいない精神」のもと、さまざまな環境活動に取り
組んでいるのが、福岡市西区の「めぐみ保育園」です。園児ととも
に取り組んだ活動が評価され、2009年の優秀賞に続き、今年、第
8回福岡市環境行動賞の学校部門で最優秀賞を受賞されました。

徹底した環境への取り組みは「初代園長である母の代から」という
園長の本田陽子さん。

園児が普段、工作に使う材料にはトイレットペーパーの芯や空き箱、
広告の紙といった廃材を利用します。また、リサイクル活動が活発な地
域とも連携し、古紙や古布、ペットボトルキャップなどの回収を行っ
ています。他にも、年に2回、保護者の協力のもと、着なくなった子ども
服を集めて、地域のリユース活動を行っている団体へ届けています。



卵パックや食品トレイなどの廃材を使った工作風景



田植え前はどろんこ遊びで代かき作業

毎年、園外に借りた田畑ではアイガモ農法での米作りと生ごみや園庭の落
葉から作った堆肥で野菜を栽培。アイガモの飼育から田植え、かかし作り、
稲刈り、収穫した米や野菜を食べる食育に至るまで、園児にとっては自然と
ふれあい、その恵みへの感謝の気持ちを育む貴重な体験となっています。

夏は園舎を囲むようにアサガオやゴーヤ、ひょうたんを植えて緑のカー
テンを作り、夏の強い日差しから子どもたちを守ります。

普段の保育の中でもオリジナルの振り付けをした「もったいない体操」を
取り入れ、園児に「もったいない」精神を意識させるなど、「環境」を意識
した多岐にわたる取り組みには頭が下がります。

「園庭での水遊びも、その蛇口から出る水は無限じゃないし、費用もかか
ります。水を出したら、止めることが大事。電気もつけたら、消すことが大事。
ティッシュペーパーも2枚の方がよく拭けるに決まっているけれど、1枚
を上手に使う工夫をすることが大事。こういうのはすべて昔からの生活の知
恵ですよ。だから子どもたちだけでなく若い先生方にもいちいち細かく
注意しています。言われてもなかなか実感はないかもしれないけれど、誰か
が言い続けるべきというのが私の考え。温暖化や大気汚染といった色々な地
球環境の変化で、将来私たちの暮らしがどう変わるかは誰にもわからないし、
今と同じ生活が将来できる保証はどこにもありません。だからこそいざとい
う時のために、昔からの生活の知恵や工夫を子どもたちにも経験させ、“も
ったいない”という精神を身に付けさせることが大切だと思っています」と本
田園長。

めぐみ保育園の取り組みには私たちも見習うべきことが数多くありそう
です。



育てたアイガモを田んぼに放す進水式



元気に「もったいない体操」を踊る園児たち

お互いを思いやりながら、楽しく二人三脚で ひなたぼっこ



講師養成講座受講生の皆さんといっしょに
(前列右から石橋さん、小毛田さん)

現在、3Rステーションのリフォーム講師養成講座で講師を務めている「ひなたぼっこ」の小毛田佳代子さんと石橋基子さん。お二人も講師養成講座の修了生で、講師になって4年目を迎えます。「ひなたぼっこ」として2人で活動をはじめたのも同じ頃。お互いに「おんぶに抱っここの関係」と言い合い、常に相手を思いやる様子は、まさに「ひなたぼっこ」そのもののほっこりとした温かさを感じます。3Rステーション隣の老人福祉センター『福寿園』で行っている「さげもん(※)教室」も大好評。そんな息もぴったりのお二人にお話を伺いました。

Q. 「ひなたぼっこ」結成のきっかけは？

A. 講師として独り立ちした時、2人なら助け合えるし、アイデアも出し合える、心強いなと思っていっしょに始めました。困った時や迷った時に相談できる相手がいるというのはありがたいですし、楽しさは3倍にも4倍にも感じます。何より好きなものが似ていて、お互い相手の存在が何より心丈夫です。

Q. リフォームの魅力は何ですか？

A. 袖を通す機会がないまま、家で眠っている母や祖母の着物にハサミを入れ、洋服や小物に作りかえるのは、ちょっと勇気のいることです。でも思い出を織り込みつつ新たな命を吹き込むことで、日々の生活の中で使い続けていければ、こんな素敵なことはないと思います。

Q. 講座で作るものはどのように決めるのですか？

A. 2人でアイデアを出し合って決めますが、さげもんなどの小物を作る時は季節感を大切にしています。あと、気を使うのは生地選び。触るだけでほっとするような、古い絹の着物地のやさしい手触りを感じてほしいです。

Q. 講座の際、心がけていることはありますか？

A. 上手に縫うことも大切ですが、楽しく縫うことはもっと大事。受講生の皆さんが笑顔で、和気あいあいと楽しみながら作っている姿を見るのが何よりうれしいですね。

あとは、作品を完成させてもらうこと。持ち帰った完成品を通して家族との会話が増えたという方も多く、皆さんの励みや生きがいになっているようです。私たちがそうですが、講座で自分以外の作品を見るのは勉強になるし、何より楽しいです。

※さげもん

柳川に伝わる和布を使った雛の吊るし飾り。



伝承の
雛吊るし飾り
「さげもん」



西部3Rステーション 講座・イベント情報



西部3Rステーションでは、3R実践講座や各種体験講座を開催しています。福岡市内に在住の方、通勤、通学されている方なら、どなたでもご参加いただけます。身近な3Rを体験してみませんか。

9月の「3R実践講座」

古布ぞうり作り【全2回】

日時／平成28年9月8日(木)、15日(木)
13:00~16:00

場所／研修室
定員／15名(抽選)
参加費／300円
応募締切／8月25日(木) 必着
持ってくるもの／針、糸、はさみ、
ものさし、洗濯ばさみ6個、5本
指の靴下



リバーシブル帽子と変わりもんぺ【全3回】

日時／平成28年9月9日(金)、16日(金)、23日(金)
13:00~16:00

場所／研修室
定員／15名(抽選)
参加費／500円

応募締切／8月25日(木) 必着
持ってくるもの／木綿や紬の着物1着分(ほどいて洗い、アイロンをかけたもの)、布の場合は92cm幅以上×2.5m、1.2mm幅のゴム(もんぺ用:ウエストサイズ+5cm×2本、帽子・もんぺ裾用:50cm)、帽子用別布(リバーシブルのため)92cm幅以上×40cm、型紙用紙、裁縫道具、はさみ(布用と紙用)、ものさし、筆記用具

リバーシブル
仕立ての帽子



【応募方法】 はがき、FAX、または西部3Rステーションの2階受付で①希望講座②住所③氏名④年齢⑤電話番号を必ず明記し、ご応募ください。抽選の上、**当選者のみ**はがきで詳細をご案内いたします。

体験コーナー!

すべて無料です!!

トイレットペーパーの芯で ふわふわウサギ

毎日 10:30~15:00
所要時間 30分程度
【定員】6名/日(先着順)
【申込】前日まで



身近なもので万華鏡

毎日 10:30~15:00
所要時間 30分程度
【定員】6名/日(先着順)
【申込】前日まで



ecoでおしゃれな マグネットインテリア

毎日 10:30~15:00
所要時間 30分程度
【定員】6名/日(先着順)
【申込】前日まで



メッセージ・チャーム

毎日 10:30~15:00
所要時間 30分程度
【定員】6名/日(先着順)
【申込】前日まで



ボタン de スタンプ

毎日 10:30~15:00
所要時間 30分程度
【定員】6名/日(先着順)
【申込】前日まで



牛乳パックで紙すき体験

毎日 10:30~15:00
所要時間 30分程度
【定員】6名/日(先着順)
【申込】前日まで



古布うちわ作り

毎日 10:30~15:00
所要時間 30分程度
【定員】6名/日(先着順)
【申込】前日まで



ハーブ入り「リサイクル」 せっけん作り

水曜日 10:30~11:30
【定員】10名/日(先着順)
【申込】希望日の3日
前まで



★体験コーナーの申込方法

電話かFAX、又は西部3Rステーションの2階受付で
①体験内容②住所③氏名④年齢⑤電話番号を必ず明記しお申込み下さい。

生ごみ堆肥相談会

生ごみの堆肥化でお困りの方は何でも相談下さい。
参加費／無料 事前申込／不要

●ふくおか環境倶楽部主催
日 時／毎週土曜日 13:00~16:00

●NPO法人循環生活研究所主催
日 時／毎月第2金曜日 10:30~14:00



ダンボールコンポスト講習会

ダンボールコンポストを始めたいという方、ご参加ください。ご家庭で使いみちの無い堆肥は引き取り、新しいコンポスト基材と無料で交換いたします。まずはご相談ください。

●ふくおか環境倶楽部主催
日 時／毎月第4土曜日 10:30~12:00
参加費／無料
事前申込／不要 *基材・テキスト購入可



9月のフリーマーケット 祝日フリーマーケット出店者募集

日時／平成28年9月22日(祝・木) 10:00~14:00
場所／西部3Rステーション 1階ピロティ
区画／16区画(抽選) ※少雨決行
応募資格／市内在住、または市内に通勤・通学する20歳以上の人(販売業者でない方)
締切／平成28年9月8日(木)(必着)

往復はがき、またはFAXで「9月祝日のフリーマーケット希望」とご記入のうえ、住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、ご応募ください。

9月のフリーマーケット 「いとにぎわい祭り」フリーマーケット出店者募集

日時／平成28年9月25日(日) 10:00~15:00
場所／さいとびあ(西部地域交流センター)
(福岡市西区西都2-1-1、JR筑肥線九大学研都市駅前)
区画／20区画(抽選) ※雨天中止
応募資格／市内在住、または市内に通勤・通学する20歳以上の人(販売業者でない方)
締切／平成28年9月8日(木)(必着)

往復はがき、またはFAXで「いとにぎわい祭りフリーマーケット希望」とご記入のうえ、住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、ご応募ください。

西部3Rステーション ご利用案内



開館時間：10:00~17:00(衣類等の持ち込みは16:00まで)
休館日：月曜日(祝日の場合は開館し、次の平日休館)
年末年始(12月28日~1月3日)

住所：福岡市西区今宿青木1043-2(クリーンパーク西部内)
TEL：092-882-3190 FAX：092-882-4580

【ウェブサイト】 <http://www.fukuoka-seibuplaza.com> 福岡市西部3Rステーション 検索

西部3Rステーションのイベント情報や暮らしに役立つごみ減量3R情報が満載です!



西部3Rステーション

●西鉄バス「三陽高校前」より徒歩約2分

